

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J-2000GP

整理番号： PP10559-00-ga-JPN

作成日： 2010/10/26

改訂日： 2016/12/12 Ver. 1.2

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： プライムポリプロ J-2000GP
会社名： 株式会社プライムポリマー
住所： 東京都港区東新橋一丁目5番2号
担当部門： 品質保証室
TEL：03-6253-4630 FAX：03-6253-4984
推奨用途および使用上の制限： 産業用途

2. 危険有害性の要約

危険有害性（GHS）区分	該当しない
ラベル要素	該当しない

他の危険有害性及び影響

人の健康に対する有害な影響：	溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。
環境影響：	海洋や河川、水域への放出により、環境汚染を起こす恐れがある。
物理的及び化学的危険性：	摩擦等で粉体化されると、粉じん爆発の可能性がある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：	混合物
化学物質名：	ポリプロピレン
成分及び含有量	

成分名称	含有量 wt%	CAS番号	化審法 官報公示整理番号
ポリプロピレン	>99	9003-07-0	6-402
添加剤（酸化防止剤等）	<1	非公開	既存

4. 応急措置

吸入した場合：	溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移すこと。 呼吸に関する症状が出た場合には、直ちに医師の手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合：	溶融物が皮膚に付着した場合は、無理に剥がさないで、多量の水をかけて十分に冷却すること。 皮膚刺激又は発疹、やけど等が生じた場合は、医師の手当てを受けること。
目に入った場合：	直ちに清浄な水で洗浄し、速やかに医師の手当てを受けること。 可能であれば、眼球、まぶたのすみずみまで水が行き渡るよう洗浄すること。
飲み込んだ場合：	可能であれば、吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：	水、粉末、二酸化炭素、泡
消火を行う者の保護（保護具等）：	火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止すること。 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	ペレットがこぼれた場所は、滑りやすいので注意すること。
環境に対する注意事項：	海洋や河川、水域への投棄、放出しないようにすること。
封じ込め及び浄化の方法：	飛散したものは、掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収すること。
二次災害の防止策：	周囲の着火源となるものを速やかに取り除き、回収時には火花を発生しない安全な用具を使用すること。

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J-2000GP

整理番号： PP10559-00-ga-JPN
作成日： 2010/10/26
改訂日： 2016/12/12 Ver. 1.2

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策：	粉じんの発生により、粉じん爆発の可能性があるため、局所排気内または全体換気の設備のある場所で取扱うこと。また、その周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止すること。電気機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行なうこと。
	注意事項：	溶融物の皮膚への接触を防ぎ、またペレットが眼に入らないよう適切な保護具を着用すること。ペレットを床に放置したままにすると滑りやすいので、常に清掃して取り除くこと。
保管	適切な保管条件：	直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管すること。換気の良い冷暗所に保管し、高温、高湿を避けること。破袋、荷崩れ防止の適切な対策を講じること。
	安全な容器包装材料：	紙袋、ポリ袋、フレキシブルコンテナ、金属製容器等。国連、地域、当局に承認を得られた容器を使用すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：	溶融樹脂から発生するガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがあるため、取扱い場所には、局所排気または全体換気装置を設置すること。取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。	
許容濃度：	ポリプロピレンの許容濃度は、日本産業衛生学会、ACGIH共に設定されていないが、粉塵が発生する場合は、次の値を採用するのが望ましい。 日本産業衛生学会許容濃度等の勧告（2015年度）の第3種粉塵に対する勧告値 吸入性粉塵： 2 mg/m ³ 、 総粉塵： 8 mg/m ³ ACGIH(2015年度)の一般粉塵に対する推奨値 Respirable particles： 3 mg/m ³ 、 Inhalable particles： 10 mg/m ³	
保護具	呼吸器の保護具：	防塵マスク（粉体状物発生時）
	手の保護具：	保護手袋
	目の保護具：	保護眼鏡（ゴーグル）、保護面
	皮膚及び身体の保護具：	安全帽、保護衣、安全靴

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状：	固体（ペレット）
	色：	透明または乳白色
	臭い：	ほとんど無臭
	pH：	該当しない
	融点：	150-165℃
	引火点：	該当しない
	自然発火温度：	>270℃ ASTM E659
	燃焼又は爆発範囲：	データなし
	下限濃度：	データなし
	密度：	0.85-0.95
	溶解性：	水：ほとんど不溶
	分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱いでは安定である。	
危険有害反応可能性：	燃焼、高温（300℃以上）条件下での成形加工時に分解物が発生する恐れがある。	
避けるべき条件：	火気厳禁：火源との接触を避けること。 高温、高湿雰囲気下での保管を避けること。	
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素及びその酸化物。	

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J-2000GP

整理番号： PP10559-00-ga-JPN

作成日： 2010/10/26

改訂日： 2016/12/12 Ver. 1.2

1 1. 有害性情報

製品	急性毒性（経口）：	データなし
	急性毒性（経皮）：	データなし
	急性毒性（吸入）：	データなし
	皮膚腐食性／刺激性：	データなし
	眼に対する重篤な 損傷性／刺激性：	データなし
	呼吸器感作性：	データなし
	皮膚感作性：	データなし
	生殖細胞変異原性（変異原性）：	AMES試験: データなし, 染色体異常試験: データなし
	発がん性：	IARC:3 （ポリプロピレンとして）
	生殖毒性：	データなし
	特定標的毒性／全身毒性－単回暴露：	データなし
	特定標的毒性／全身毒性－反復暴露：	データなし
	吸引性呼吸器有害性：	データなし

1 2. 環境影響情報

製品	生態毒性：	データなし
	残留性／分解性：	通常的环境下において、長期間分解しない
	生体蓄積性：	データなし
	土壌中の移動性：	データなし
	オゾン層：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法：	焼却処理を行なう場合、大気汚染防止法等の関連法令に従い、処理を行うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理すること。 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に、関連法令に従い処分すること。
-------	---

1 4. 輸送上の注意

国際規制	UN （国連勧告）：	危険物に該当しない
	IMDG （国際海上危険物規則）コード：	危険物に該当しない
	IATA-DGR （国際航空運送協会危険物規則）：	危険物に該当しない
国内規制	消防法：	指定可燃物 同法の規定に従った容器、積載方法による輸送を行うこと
安全対策等：	包装を傷つけたり汚すような取り扱いは厳禁。荷崩れ防止、水濡れ防止、異物混入防止措置を講じること。	

1 5. 適用法令

消防法：	指定可燃物（合成樹脂類）
毒劇物取締法：	該当しない。
労働安全衛生法（通知対象物質）：	該当しない。
化審法（特定化学物質、指定化学物質）：	該当しない。
化学物質管理促進法（PRTR法）：	該当しない。

安全データシート

製品名： プライムポリプロ J-2000GP

整理番号： PP10559-00-ga-JPN

作成日： 2010/10/26

改訂日： 2016/12/12 Ver. 1.2

16. その他の情報

備考： 本製品は樹脂ペレットであり、練り込まれている化学物質のみが飛散することはありません。
ガラス繊維含有銘柄等においては物理的な刺激性がある場合があります。

参考文献等： 国連 危険物輸送に関する勧告/United Nations Recommendations on the Transport of Dangerous Goods
日本工業規格 JIS Z7252:2014 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z7253:2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、
作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
GHS対応ガイドライン 「製品安全データシート作成指針・ラベル作成指針」 (日本化学工業協会)
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 化学物質安全管理センター データベース
WHO 国際がん研究機構 (IARC) Monographs
アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH) TLVs and BEIs
WHO ICSC (International Chemical Safety Cards) /国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) データベース
産業衛生学会雑誌、刊行物
原材料メーカー業界団体刊行物および意見書
原材料メーカー安全データシート (SDS)
自社データ

免責文： 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、
輸送、廃棄、漏出時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をする
ものではなく、品質を特定するものでもありません。危険有害性の評価結果は、今後の新しい知見で改訂
されることもあります。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定
されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

その他： 当該製品を輸出する場合、輸入国における許可・届出等が必要となる場合がありますが、該申請等は輸入者
で実施願います。

本SDSに関するお問い合わせはお取引窓口の営業担当部門へお願い致します。

PRIMEPOLYMER HPアドレス <http://www.primepolymer.co.jp/>